

横浜市インフルエンザ流行情報 4号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

《トピックス》

インフルエンザの報告が増加しています。

【概況】

2016年第49週(12月5～11日)の定点^{※1}あたりの患者報告数は、横浜市全体で**4.16**と、前週よりさらに増加しています。報告された患者の半数以上は15歳未満です。

今シーズンの第49週の迅速診断キットの結果は**A型89.8%、B型10.2%**となっています。全国のウイルス検出状況^{※2}では、ほとんどが**AH3型(A香港型)**で、横浜市内も同様の傾向です。また、学級閉鎖の発生は第49週までに今シーズン合計で30件報告されています(主に小中学校)。

今後、インフルエンザの本格的な流行が予想されるため、予防や早期受診などの対策^{※3}が重要です。

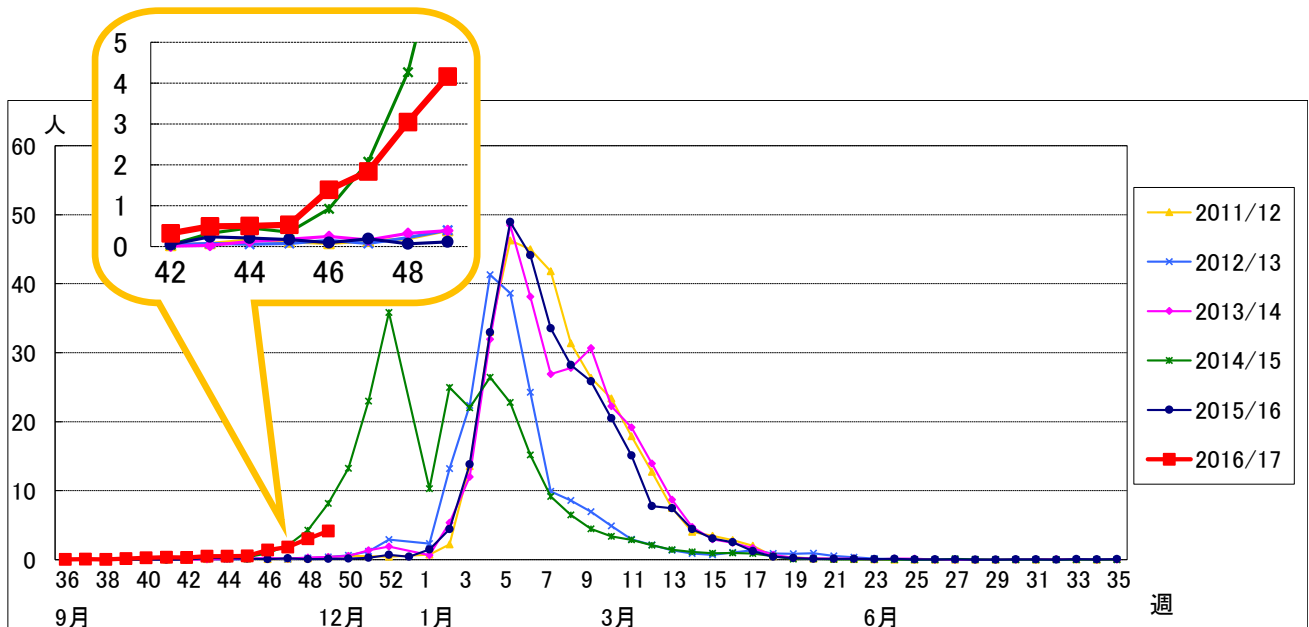
※1 定点・・定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内153か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

※2 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

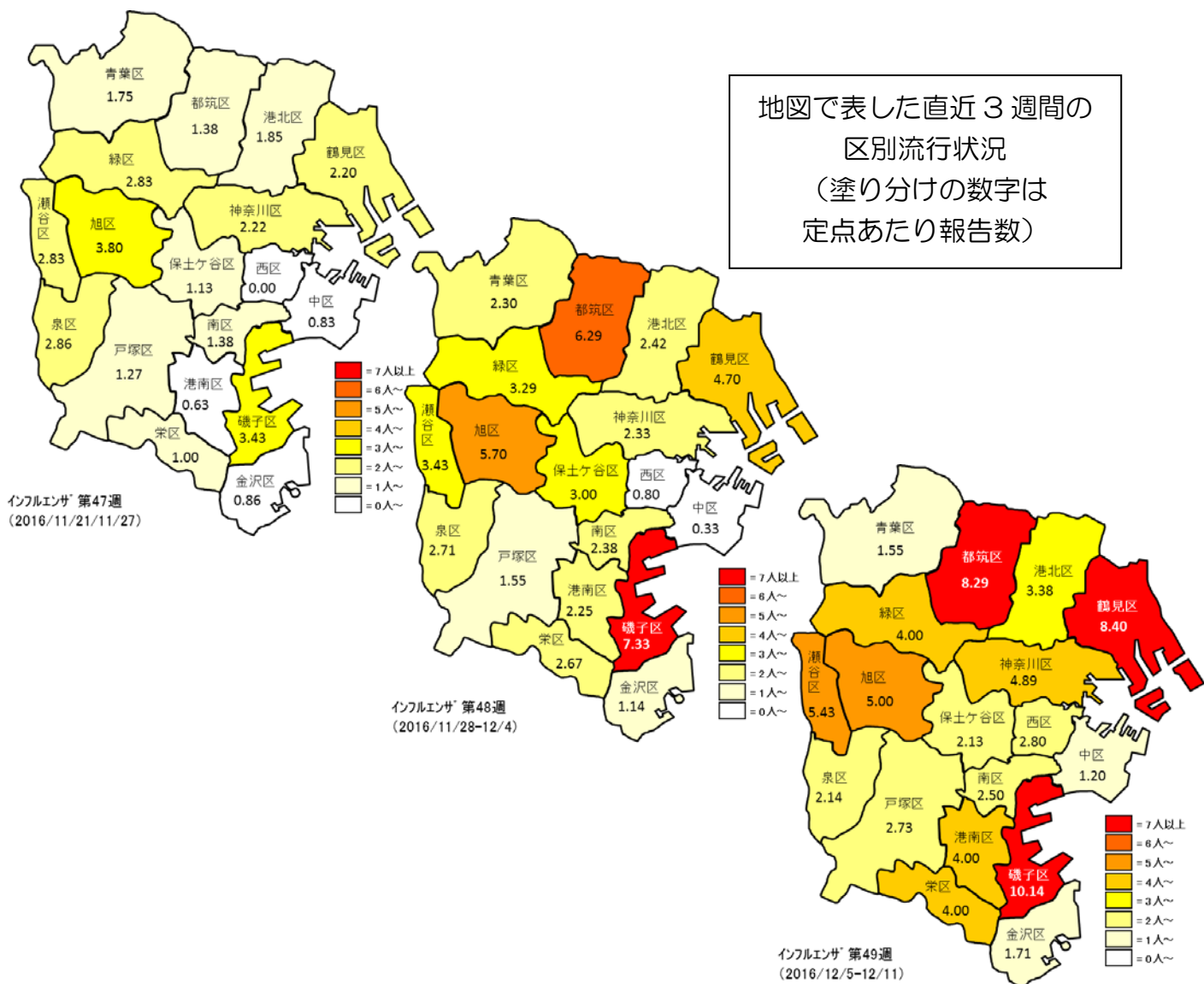
※3 [インフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

1 市内流行状況:市全体の定点あたりの患者報告数は、2016年第49週で4.16と、前週3.05^{※4}よりさらに増加しました。

※4 追加報告があったため、流行情報3号から報告数が更新されています。

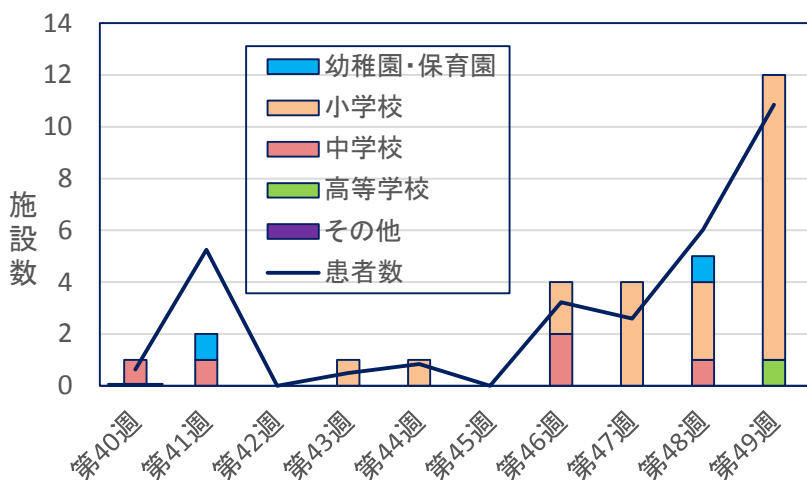


2 地図で表した直近3週間の区別流行状況(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

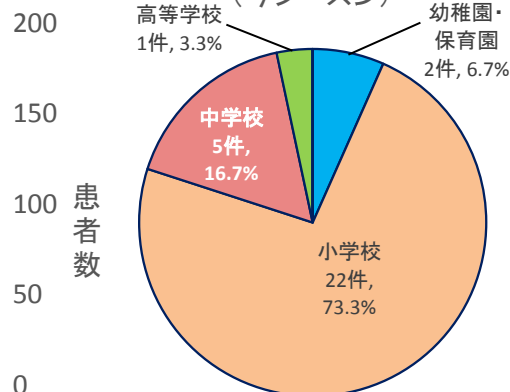


3 市内学級閉鎖等状況:今シーズンは第49週までに30件が報告され、報告された患者数(医療機関で診断された人数とインフルエンザのような症状のある人数の合計)は延べ427人となっています。今シーズンに学級閉鎖等を行った施設の累計は、小学校22件(73.3%)、中学校5件(16.7%)、幼稚園・保育園2件(6.7%)、高等学校1件(3.3%)となっています。第49週の12件は、小学校11件、高等学校1件でした。

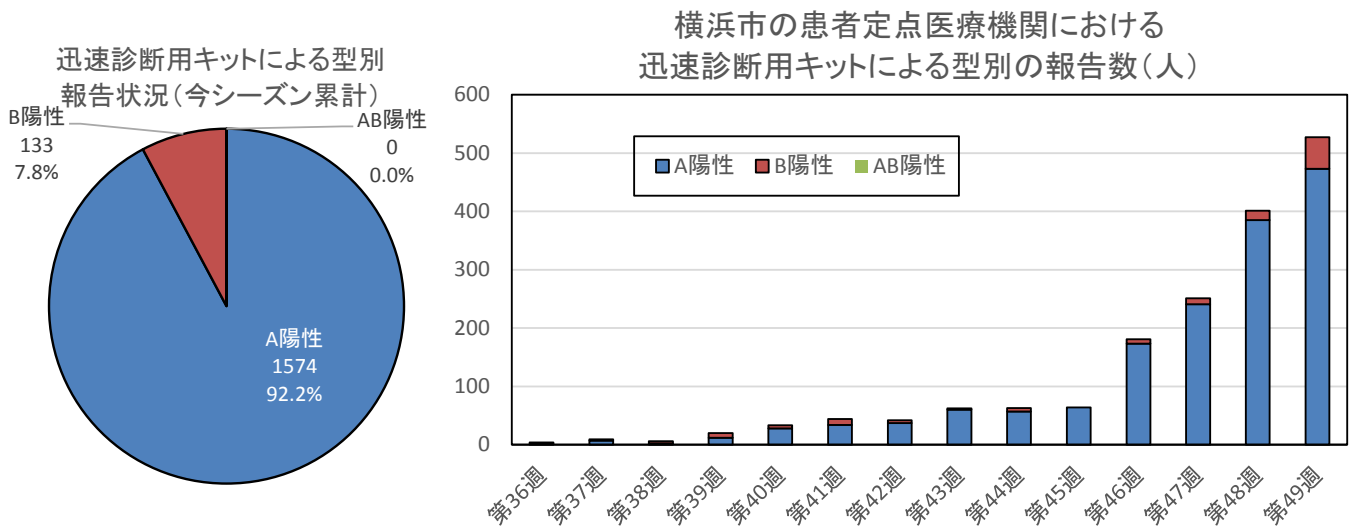
学級閉鎖等の施設数と患者数の推移



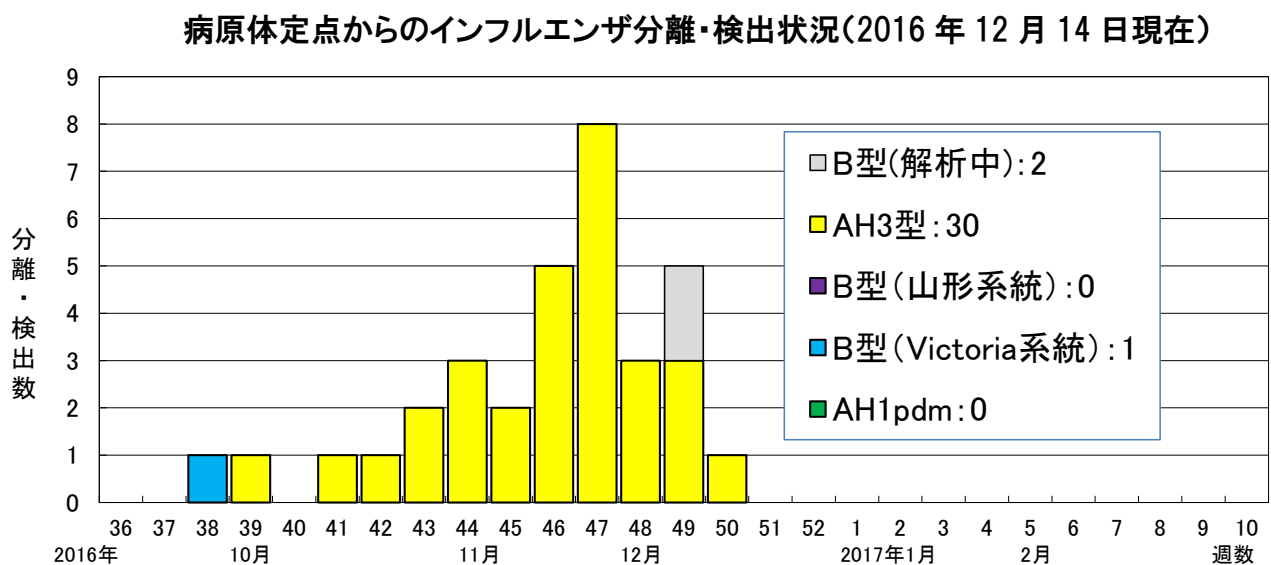
学級閉鎖等の施設の状況 (今シーズン)



6 迅速キット結果:今シーズンの迅速キットの結果の累計は、A型 92.2%、B型 7.8%で、A型が多く検出されています。第49週の結果はA型 473人(89.8%)、B型 54人(10.2%)で、第48週と比べてB型の割合がやや増えています。



7 市内病原体検出状況:市内では病原体定点から AH3型が最も多く分離・検出されており、全国の状況と同様です。



※参考リンク

近隣自治体の流行状況

○[神奈川県](#)

○[川崎市](#)

○[東京都](#)

全国の流行状況

○[国立感染症研究所](#)

【お問い合わせ先】横浜市健康福祉局健康安全課 TEL 045(671)2463
横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9237